



## 佐賀西高校サイエンス部の生徒が理工学部を見学

### 【概要】

佐賀西高校サイエンス部の化学系の研究に興味を持つ生徒が、2019年9月2日に理工学部化学部門の研究室と総合分析実験センターを見学しました。

### 【本文】

佐賀県立佐賀西高等学校のサイエンス部を指導している松高 和秀 教諭から理工学部化学部門の長田 聡史 准教授に部活動への助言と研究室見学の依頼があり、高大連携活動の一環として2019年9月2日（月）に理工学部化学部門と総合分析実験センターの施設見学会を行いました。

当日は、松高教諭とサイエンス部の化学系の研究に興味を持つ生徒6名が訪れ、まず総合分析実験センターでガスクロマトグラフィー装置、蛍光X線分析装置、単結晶X線構造解析装置、核磁気共鳴装置の見学を行いました。センターでは徳田 郁実 技術補佐員からの使用目的の詳しい説明を中心に、新地 姉理華 技術専門職員と真瀬田 幹生 技術員による測定演示が行われました。また化学部門の研究室見学では海野 雅司 教授、北村 二雄 教授、森貞真太郎 准教授、坂口 幸一 准教授の研究室で研究内容に関する説明を受けました。センターと研究室の説明では、生徒たちは素朴な疑問など積極的に質問をしており、担当者が舌を巻くような場面もありました。

最後にサイエンス部の生徒による研究内容の進捗状況発表がリフレッシュホールにおいて行われました。発表会には部活動の助言をしている長田准教授に加えて、森貞准教授、坂口准教授も参加し、生徒たちの活動内容に関して活発な討論が予定時間を大幅に超えて行われました。松高教諭から、高校に戻る途中に生徒たちが今後の研究について自ずと議論を始める様子もあり良い刺激になったとの報告がありました。大学職員一同、サイエンス部の益々の活動の発展を祈念しています。



総合分析実験センター見学の様子